## 令和2年度 江戸川区立船堀小学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標

よく考えすすんで学ぶ子 思いやりがある心豊かな子 さいごまでやりぬく子

たくましくじょうぶな子

目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像

確かな学力とあたたかい心、地域を愛し次の時代を担う意識を高くもち、夢や希望を育てる学校 すすんで学び、共に認め合い、めあてをもって粘り強くやり遂げ、未来に向かって歩む児童 深い児童理解のもと、児童の成長を信じ、主体的に考え研鑽し課題意識をもって積極的にかかわる教師

前年度までの学校経営上の 成果と課題

<成果>スポーツの選手や他の専門家をよび、出前授業として各学年で実施したことにより、児童が関心をもち、自分の可能性を考えさせることができた。

<課題>相談体制による児童理解・保護者理解、特別支援教室(エンカレッジルーム)の理解の推進。通常の学級での特別支援教育の推進。外遊びをする。

教育委員会 重点課題	双租 填 日	評価の視点	具体的な取組			自己評価			学校関係者評価	来年度に向けた
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	改善策
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育 プログラム」による連携の充実	改善	連携プログラム実施の確認を 文書などで行う。						
	外部人材を活用した体験的な学習の充実	様々な分野の専門家による出前授業の実施や校 外学習などにより、児童の興味関心を高める。	学級ごとに、専門家による広く 深い学びを得る機会や体験を する機会をつくる。							
	たてわり「なかよし班」での活動の工夫	工夫した取り組みを通して、思いやりの心と行動 ができるようになる。	なかよし班での小さな取り組み を行う。	取組は10月より月1回。児童保護者アンケート90%以上						
	保護者・地域に向けた教育活動の積極的な 発信	学校ホームペーシ'、学校だより、学年・専科だより。手紙、道徳授業地区公開講座、学校保健委員会、個人面談等で発信	学校ホームペーシ、学校だより、 学年・専科だより。手紙、道徳 授業地区公開講座、学校保健 委員会、個人面談等で発信	回。道徳・学校保健(状況に応じる)。地域保護者アンケート80%						
	思いやりのある児童の育成	相手を尊重する友達への言葉かけや行動ができる	あたたかい言葉や行動ができ るふれあい月間、授業など実施							
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICT を活用した教員の授業力の向上。	作を効果的に行う。計画的授	毎日、ICT機器を活用する。 ICT研修年3回。授業実施						
	特別支援教育の推進	校内委員会(特別支援教育委員会)の充実を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援教育コーディネー ターを中心とする児童の特性 に応じた指導や支援、適切な 対応の方策の向上。	特別支援教育研修(児童理解 の会を含む)年3回以上の実 施。個に応じる対応策増加。 個別指導計画の充実。						
		あすなろ学級、特別支援教室、副籍交流の理解 と啓発	あすなろ学級、エンカレッジ・ルーム (特別支援教室やまぶきルー ム)、副籍交流の理解	特別支援教室の理解教育実施、たより、HP等での紹介、保護者アンケート80%以上						
	児童理解による適切な対応	Q-Uテストを生かした学級経営	実施後の結果分析による学級 経営の見直し	上、児童アンケート90%以上						
いきいきと学ぶ教 育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補 習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・わかる・楽しいもっとやりたい 授業の展開と個に応じる指導 ・年間を通して補習を2年生以 上実施。1年生は2学期後半 以降実施。	・授業のユニバーサルデザイン化 (授業の流れの提示、視覚的と な提示、わかりやすい、発問)と 個に応じる指導の実施。・木曜 日放課後に各学級において担 任や専科教諭にて実施。・毎 回の授業で、船堀小学習スタ ンダードと学力向上プランの授 業での実施。						
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習 の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な 学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	による、調べ学習の成果。 ・計画的な学校図書館の利用	<ul><li>・探求的な活動による全員の成果物</li><li>・図書館の活用年間10回以上。</li></ul>						
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の 実施による運動意欲の向上	・教員が一緒に休み時間に遊ぶことで密にならない運動遊びの仕方を理解させ、その後につなげる。毎週の学級運動遊び	・一学期は、毎回、教員が一緒 に休み時間に遊ぶ。二学期以 降は毎週の学級ごとの運動遊 び。 児童アンケート90%以上						

	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」 に基づく取組やオリパラコーナーの充実	年間計画に基づいたオリパラ 教育の実施	毎月のオリパラ給食の実施。 発表やオリパラコーナー等の展示			
地域・保護者との	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	英語専科とALTとの連携による 年間計画に沿った授業展開	外国語の授業での積極的な参加95%以上			
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校 づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議 会の活用	応早めの対応。ふれあい月間				
	食育の推進	じ、食への関心を高める。	・コロナ感染防止対応の給食の仕方の徹底 ・季節感や文化を感じさせる給食の提供や講話。 ・食育年間計画に基づいた実施	・安全な提供と給食指導の徹 底と定着。 ・毎月の郷土料理や外国の料理の提供と説明。講話等の実施。 ・味覚の授業実施。			
	全教職員による相談体制	理解して、困ったときに相談できる体制づくり	相談による問題解決 教師や保護者が、SC、巡回指 導教員、特別支援教室専門 員、心理士との連携。 保護者と教職員の面談	巡回指導教員、専門員、心理 士、SCの情報共有。面談実 施。 全教職員による個人面談の実 施。児童保護者アンケート 80%以上。			
共働·連携	保護者・地域に向けた教育活動の積極的な 発信	保護者会等で発信	学年・専科だより。手紙、道徳 授業地区公開講座、学校保健 委員会、保護者会等で発信	一回。道徳・学校保健各1回。 地域保護者アンケート80%以上			
その他	働き方改革	会議時間の短縮。校務分掌の標準化。週計画に基づく教育活動	3つの校務分掌グループによる会議の設定のしやすさと効率化を図り、児童と向き合う時間を生み出す。	会議45分以内。C4thの活用。 学年・分掌等での分担。			